

## 東京工業大学における男女共同参画事業に関する調査(教員向け)

### 速報版

はじめに

平成 20 年に男女共同参画推進センターが設置され、男性女性が互いに人格を尊重し、それぞれの能力を十分に発揮できる「最高の理工系大学」の実現というポリシーを掲げ、科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に「理工系女性研究者プロモーションプログラム (Leap)」が採択されたことを契機に、女性研究者が活動しやすい環境づくりや支援策を行ってきました。多様なライフスタイルをもつ女性（出産・育児・介護等）の活動しやすい環境を、また少子高齢化が進む中、今後ますます家族責任が増える男性にとっても活動しやすい環境を考えています。この二年半、女性研究者向けの支援策をパイロットスタディとして行い、女性に限らず男性も、研究者だけでなく職員・学生にも徐々にその支援範囲を拡げています。

少子高齢化に加えて理工系離れが進む中、将来にわたって優秀な人材を確保するためには、女性の人材市場を開拓し、国際的に見て立ち遅れている理工系分野の女性の育成や活用を促進することが大学としても急務です。こうした背景のもと、女性研究者の増員に資するよう、学生や小中高校生を対象とした事業や、キャリアモデル提示事業も行ってきました。

この 3 月を以って「理工系女性研究者プロモーションプログラム」は終了します。今後は、このスタートアップ事業で培ったことを活かし、今回の調査結果を参考にして、本学の男女共同参画事業を進めていきます。

この度の調査に、ご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

平成 23 年 3 月 25 日

男女共同参画推進センター  
センター長 大倉 一郎

## 1. 調査の目的

科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業，および男女共同参画事業について，その認知度，有用性および継続の必要性を把握すること。

## 2. 調査概要

対象	本学の教員（参考：常勤教員数 1098 人 平成 22 年 5 月 1 日現在）
調査時期	平成 23 年 2 月 4 日～2 月 28 日
調査方法	・アンケート用紙への回答，もしくは Web サイトからの回答 ・無記名方式
回答者数	345 人

## 3. アンケート結果

### 【1】 回答者の属性

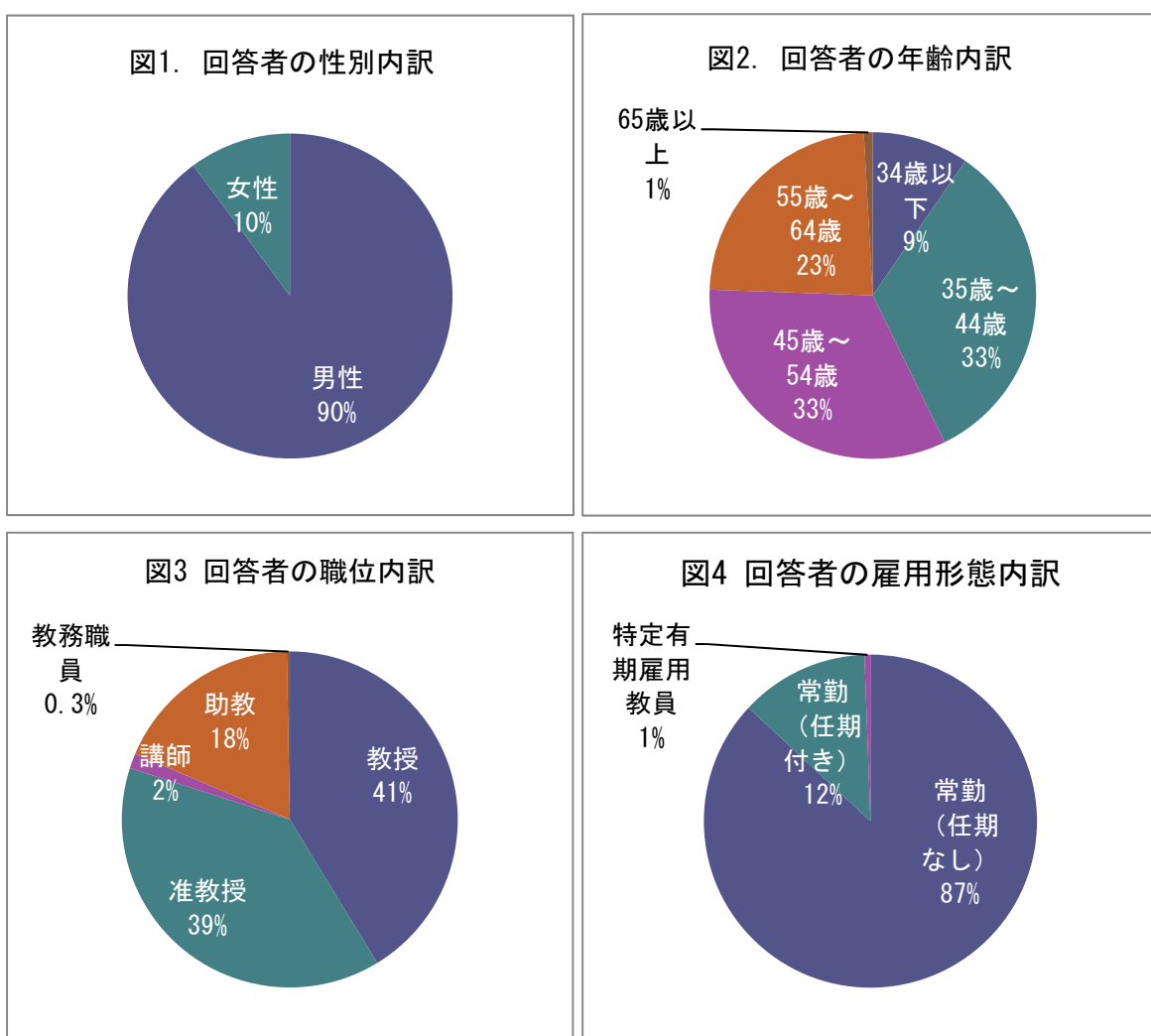


表 1. 所属部局

部局名	回答数	教員数(*)
理工学研究科(理学系)	50	154
理工学研究科(工学系)	89	321
生命理工学研究科	49	85
総合理工学研究科	29	135
社会理工学研究科	39	73
情報理工学研究科	17	79
イノベーションマネジメント研究科	5	12
資源化学研究所	19	46
精密工学研究所	16	43
応用セラミックス研究所	4	33
原子炉工学研究所	6	33
学内共同研究教育施設等その他	21	84
無回答	1	
合計	345	1,098

(\*)教員数は平成 22 年 5 月 1 日現在

【2】 本学の男女共同参画事業に関する認知度

図6. 本学が男女共同参画推進センターを設置したことを知っていたか

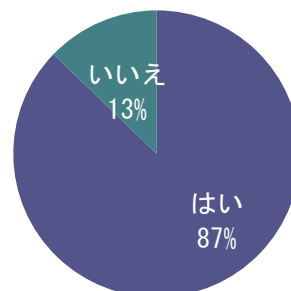


図7. 本学では男女共同参画ポリシー」および「男女共同参画を推進するための基本方針」を定め、公表していることを知っていたか

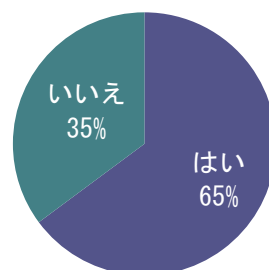
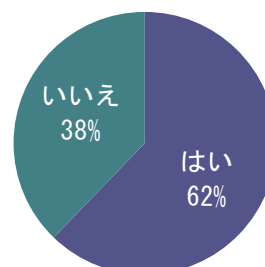


図8. 本学が文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に採択されたことを知っていたか

(提案課題名「理工系女性研究者プロモーションプログラム：Leap」H20～22年度)



【3】 男女共同参画を推進するために本学が行っている支援について

図9. 本学が実施している各支援策の認知度・利用度

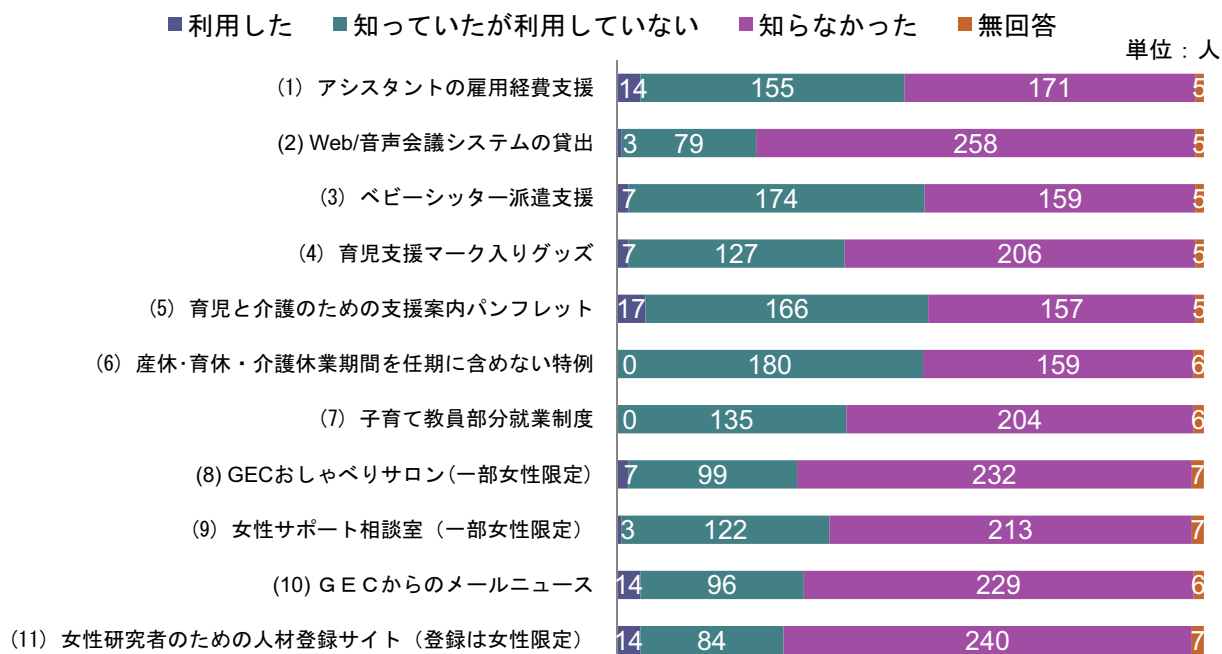


図10-1. 本学が実施している各支援策を利用したい

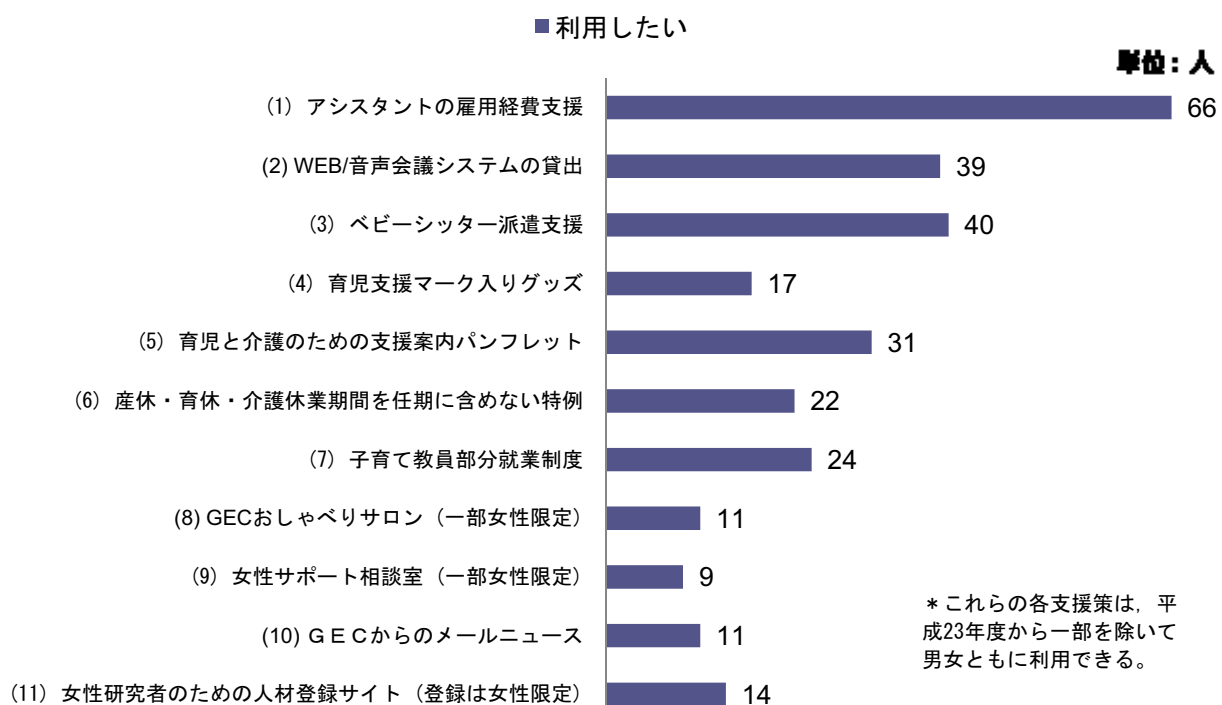


図10-2. 本学が実施している各支援策について周囲に利用を勧めたい

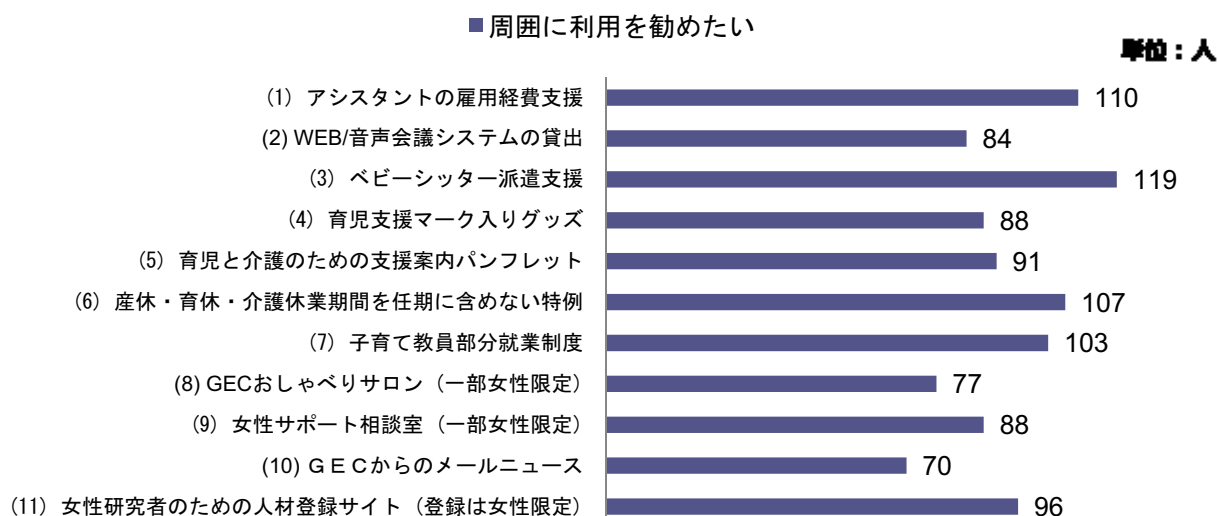


図10-3本学が実施している各支援策を継続すべきある

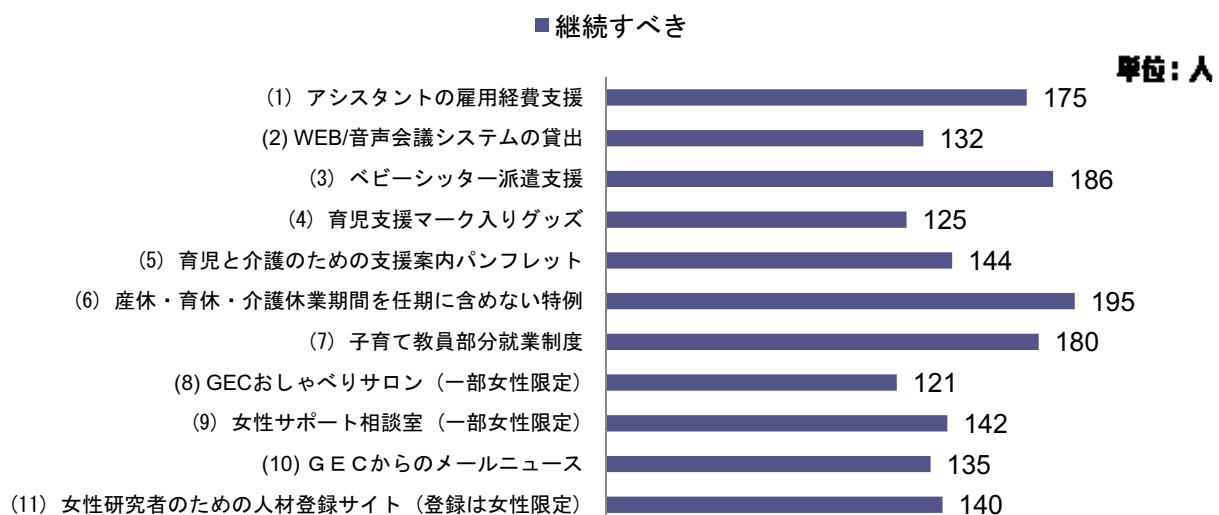


表2 本学が実施している各支援策について継続不要と思うもの、改善すべき点があるもの

取組み	不要	改善	その他
(1) アシスタントの雇用経費支援	2	2	0
(2) WEB/音声会議システムの貸出	7	1	3
(3) ベビーシッター派遣支援	2	5	0
(4) 育児支援マーク入りグッズ	9	1	2
(5) 育児と介護のための支援案内パンフレット	2	0	0
(6) 産休・育休・介護休業期間を任期に含めない特例	1	1	0
(7) 子育て教員部分就業制度	2	0	0
(8) GECおしゃべりサロン（一部女性限定）	4	2	4
(9) 女性サポート相談室（一部女性限定）	2	2	1
(10) GECからのメールニュース	4	0	1
(11) 女性研究者のための人材登録サイト（登録は女性限定）	3	2	2

\* 数値は意見数。「その他」は不要または改善以外の意見。

【4】 男女共同参画についての意識改革を目的とした本学の取組みについて

男女共同参画についての意識改革を目的とした取組み

- ◆女性研究者による講演・セミナー
- ◆男性研究者・女性研究者合同研究発表会 ～研究者としてのキャリアを考える～
- ◆男女共同参画に関するシンポジウム
- ◆上層部向け男女共同参画講演会

図11 意識改革を目的とした取組みへの関わり

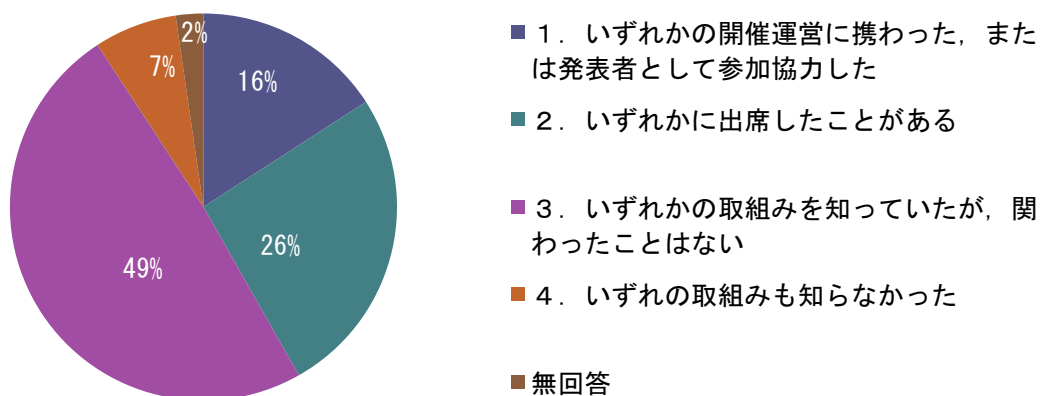
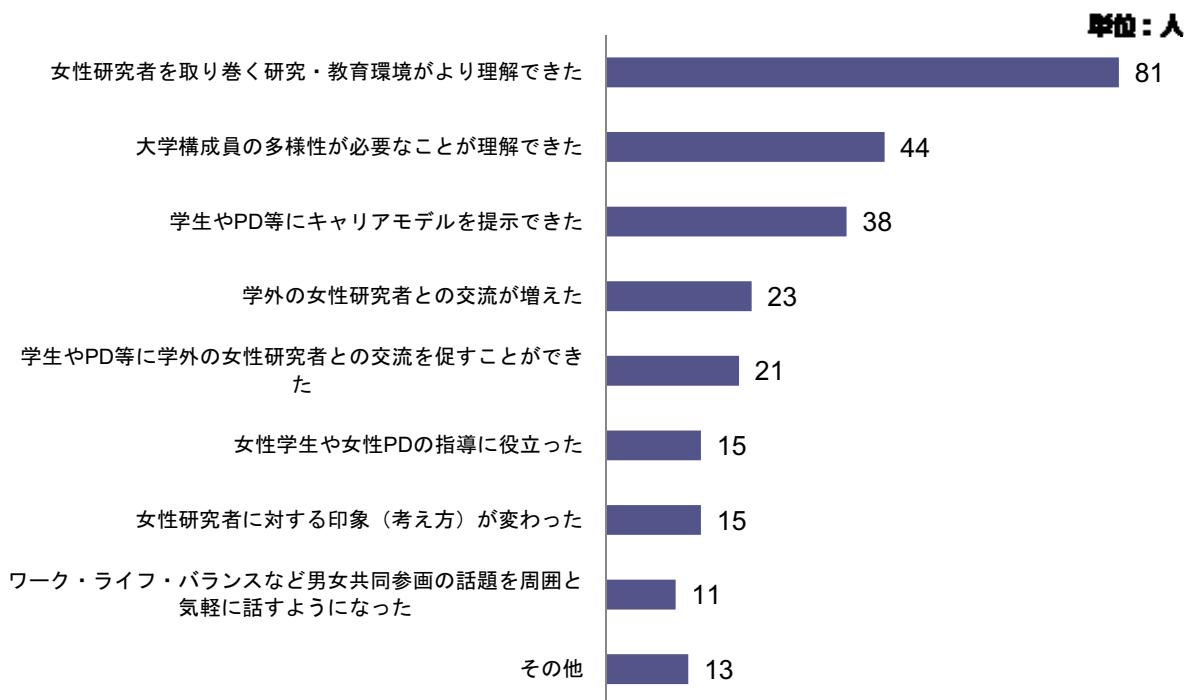
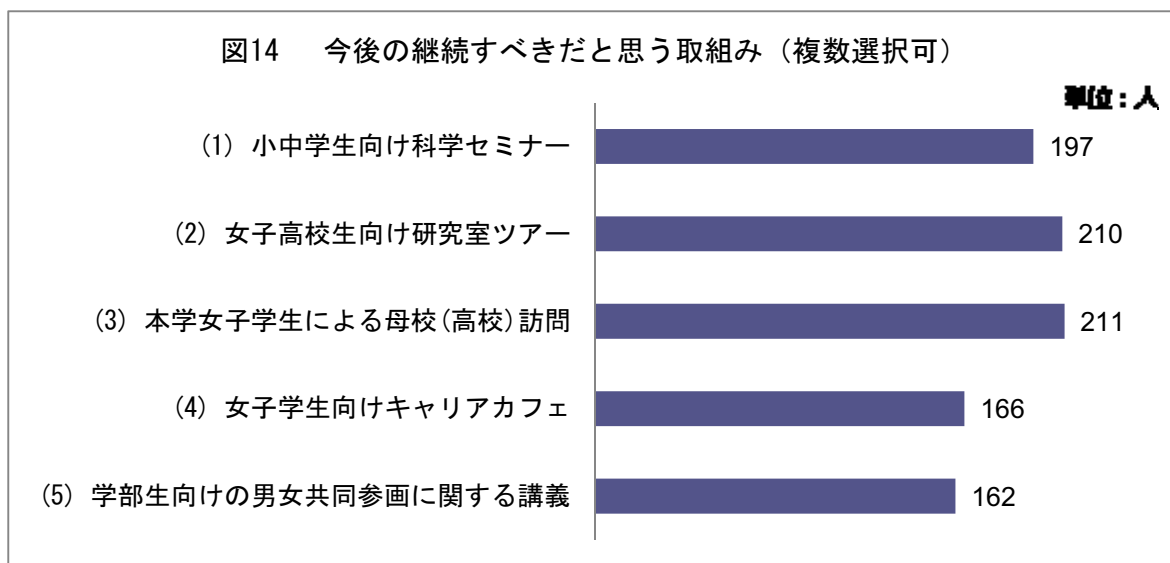
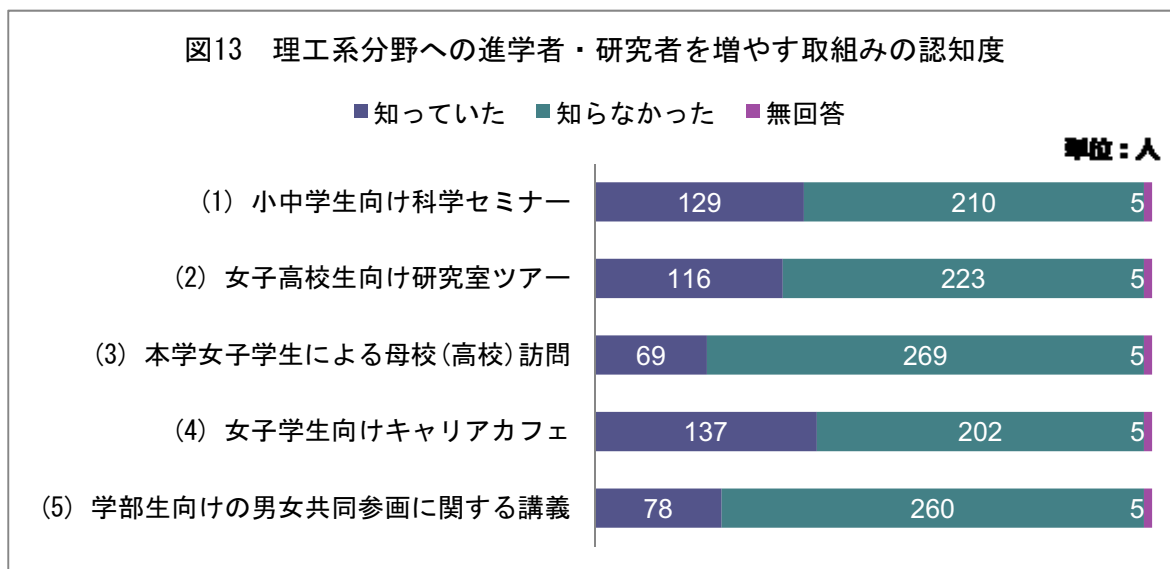


図12 意識改革を目的とした取組みに関わった感想（複数選択可）

\* 図11で1または2と回答した42% (145名)を対象



【5】 理工系分野への進学者・研究者を増やすことを目的とした、主に女性対象の本学の取組みについて



【6】 女性教員の増員について

第4期科学技術基本計画(素案)では、女性研究者の採用目標値(自然科学系)が以下のように定められ、内閣府の第3次男女共同参画基本計画(H22.12.17.閣議決定)でも、同じ目標値が書かれています。文部科学省の指針では、同じ値が教員(常勤)の採用目標値として書かれています。「自然科学系 25%(早期)、更に 30%を目指す。特に理学系 20%、工学系 15%、農学系 30%の早期達成及び医学・歯学・薬学系あわせて 30%の達成を目指す。」

図15 本学においても女性教員の採用割合(採用数)を増やすことが期待されている中、導入すべきと考える女性教員増員策(複数選択可)

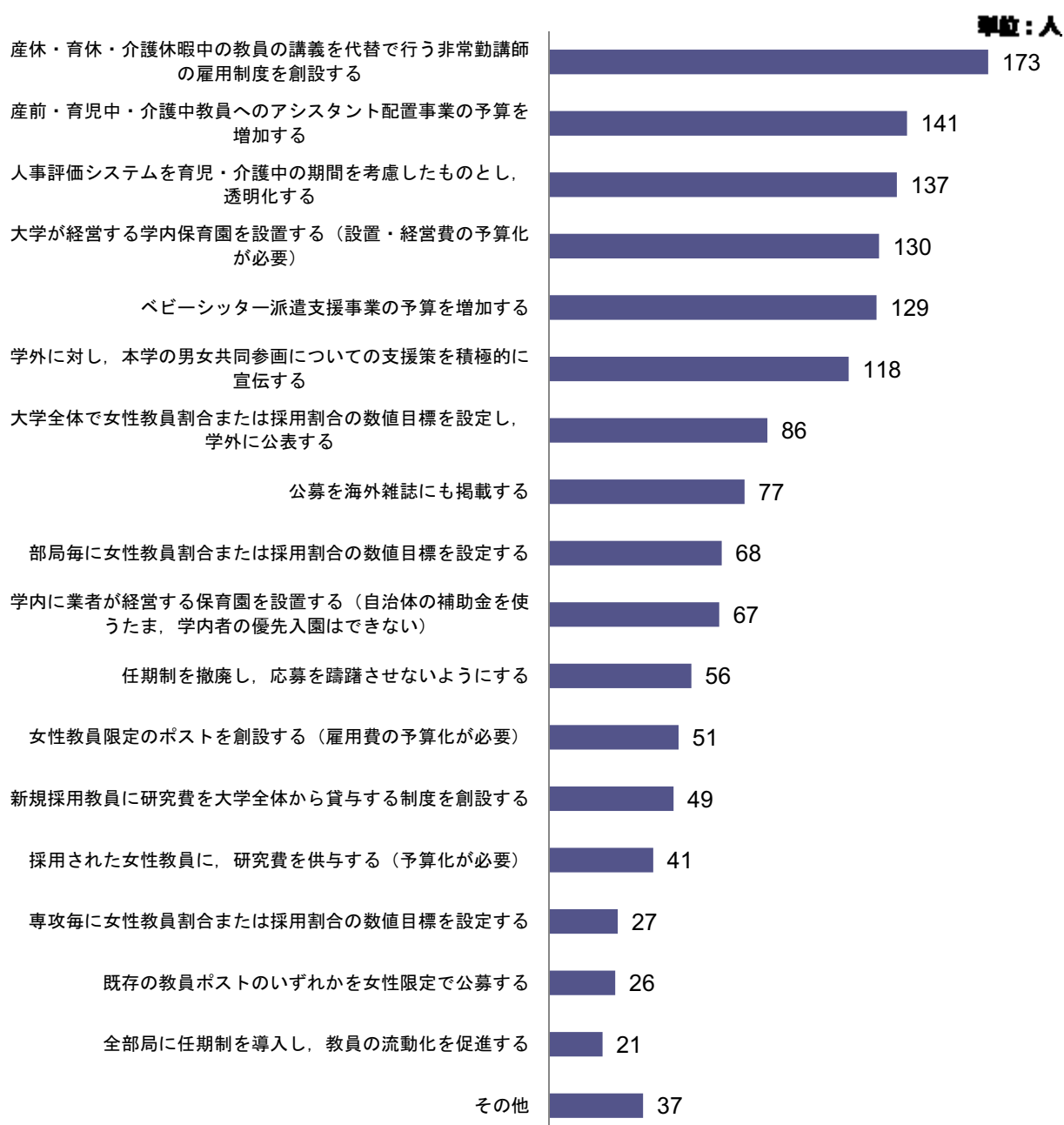




図16 数値目標を設定する場合に、目標達成のインセンティブとして  
本学において適当と思う方法（複数選択可）

\* 図15の設問で「部局毎に女性教員割合または採用割合の数値目標を設定する」または  
「専攻毎に女性教員割合または採用割合の数値目標を設定する」と回答した95名を対象

単位：人

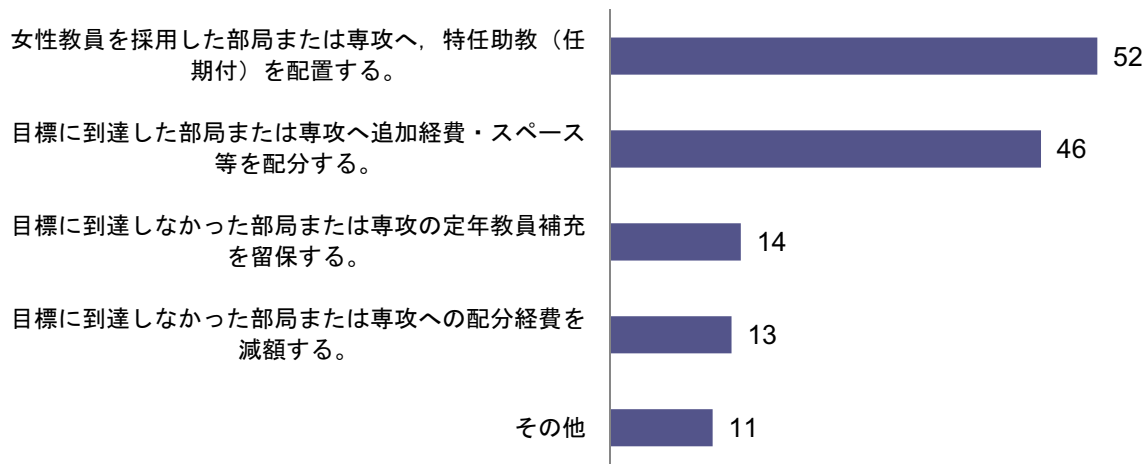
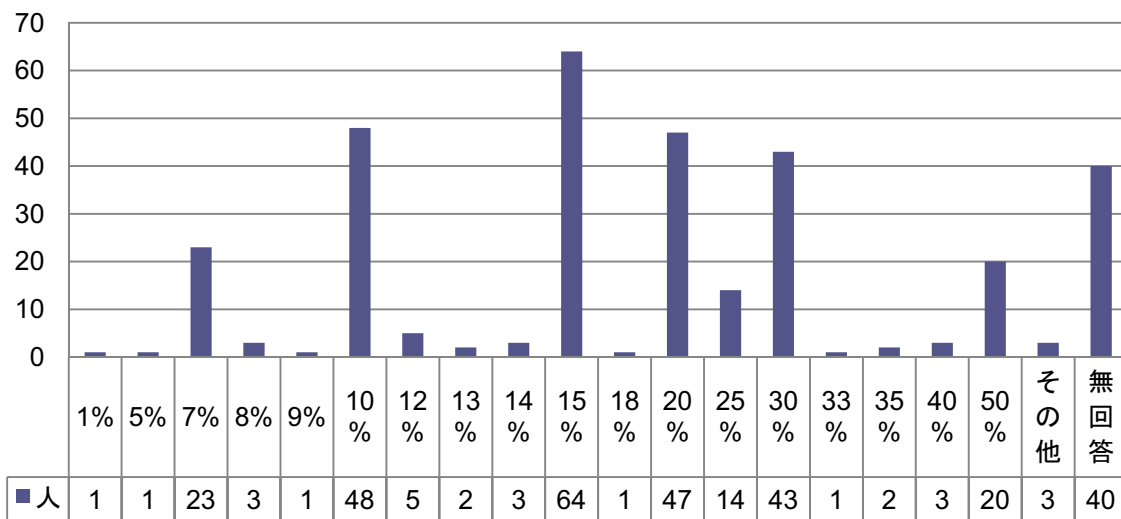


図17 本学の女性教員比率は現在約7%である  
望ましいと思う比率は何%か



その他（15～20% 1人、30～50% 1人、30%以上 1人）